

継続協議項目の検討の方向性について

具体的検討項目	論点（課題、問題点等）	主な議論
⑫議員間の自由討議		
	<p>【前提として】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 自由討議を行う目的は何か。○ 自由討議とはどのようなものか。（どのような場面で、どのように行うものか。） <p>【前回の論点】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 現状として、議会の審議は、そのほとんどが議員による執行機関への質問で終わっており、「討論」も議員や委員の意見の言いつ放しという形となっている。これまで議員同士で議案の是非をめぐって討議を行うということにはなっていなかった。 <p>※上記のほかに論点はないか？</p>	<p>【前回の主な発言】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 12番目の「議員間の自由討議」と15番目の「政策討論」の違いを明確にしておく必要がある。例えば、「議員間の自由討議」は議案に対して行うもので、議会内の合意形成を目指していくことを目的とするもの。「政策討論」は議会が独自に政策課題（テーマ）を設定して行うもので、政策提言などの議会独自の政策形成を目的とするもの。○ 伊勢市の実態を見ても、現状では、議会の審議は、そのほとんどが議員による執行機関への質問で終わっており、議員同士で討論を行い、合意形成を目指すという形にはなっていなかった。○ ルールづくりを含めてじっくりと検討する必要がある。○ 議案に対して、常任委員会単位で行うのが適当ではないか。○ イメージがわからない。○ 現在行っている「討論」は、議員や委員の意見の言いつ放しというようなところがある。議員同士で質疑応答をすれば、議論が深まるのではないか。○ 自由討議のために、事前に議案に対して論点の洗い出しをするということになれば、先議に当たることにならないか。○ 委員長の権限の中で、まずは形にこだわらずにやっていくのがよいのではないか。○ 今までの議会の議事の流れという既成概念にとらわれていては、新しい、伊勢市らしいものはできない。